

第 2 2 期事業年度
(令和 7 年度)

決 算 報 告 書

国立大学法人 浜松医科大学

令和7年度 決算報告書

国立大学法人浜松医科大学

(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)	備考
収入				
運営費交付金	5,428	5,818	390	(注1)
施設整備費補助金	175	173	△2	(注2)
補助金等収入	752	2,633	1,881	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	－	－	－	
自己収入	31,860	33,436	1,576	
授業料、入学金及び検定料収入	686	610	△76	(注4)
附属病院収入	30,716	32,456	1,740	(注5)
財産処分収入	－	－	－	
雑収入	458	370	△88	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,656	3,291	635	(注7)
引当金取崩	258	300	42	
長期借入金	595	561	△34	(注8)
目的積立金取崩	217	－	△217	(注9)
計	41,941	46,212	4,271	
支出				
業務費	36,359	37,025	666	(注10)
教育研究経費	7,155	7,092	△63	
診療経費	29,204	29,933	729	
施設整備費	770	734	△36	(注11)
補助金等	752	2,028	1,276	(注12)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,656	2,257	△399	(注13)
貸付金	10	9	△1	
長期借入金償還金	1,394	1,393	△1	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	－	－	－	
計	41,941	43,446	1,505	
収入－支出	－	2,766	2,766	

○予算と決算の差異について

- (注1) 予算段階に予定していなかった運営費交付金の繰越および交付により、予算額に比して決算額が390百万円多額となっています。
- (注2) 入札の結果、契約額が計画額よりも安価となったため、予算額に比して決算額が2百万円少額となっています。
- (注3) 予算段階では予定していなかった国及び県等からの補助金を獲得したため、予算額に比して決算額が1,881百万円多額となっています。補助金等収入には、授業料等減免費交付金が86百万円含まれており、本補助金は授業料免除に使用しております。
- (注4) 主として授業料免除の対象者が予算段階の予定より増となったため、予算額に比して決算額が76百万円少額となっています。
- (注5) 主として病床稼働率及び診療単価の向上により、予算額に比して決算額が1,740百万円多額となっています。
- (注6) 主として期末決算における内部保有資金取崩の取りやめにより、予算額に比して決算額が88百万円少額となっています。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等のうち763百万円は昨年度以前に受け入れて本年度使用した金額となっています。また、予算段階で予定していなかった受託研究等の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が635百万円多額となっています。
- (注8) 競争入札で落札額が予算上の積算額を下回ったことにより、予算額に比して決算額が34百万円少額となっています。
- (注9) 主として学内補正予算および期末決算における目的積立金取崩の取りやめにより、予算額に比して決算額が217百万円少額となっています。
- (注10) 物価高騰及び高額薬の使用増により、予算額に比して決算額が666百万円多額となっています。
- (注11) (注2)および(注8)に示した理由により、支出額においても予算額に比して決算額が36百万円少額となっています。
- (注12) (注3)に示した理由により、支出額においても予算額に比して決算額が1,276百万円多額となっています。
- (注13) 複数年契約等による支出年度の差異により、予算額に比して決算額が399百万円少額となっています。